

## 川上中学校 令和4年度（運動・文化）部活動の方針・課外活動の方針

**目標** 学年、学級の枠を超えた同好の集団をつくり、顧問の適切な指導を通して専門技術を高めながら、たくましい体力や精神力・豊かな教養を育成することにより、生徒の生活を充実させ、人間的な成長をはかる。

「仲間とともに新しい自分の発見、新しい部活動の創造」～時を守り、場を整え、礼を尽くす～

- 学校生活・日常生活での時間を守り、時間やルールを大切にする。
- 活動の場はもとより、様々な「場」を整え、大切にする。
- あいさつや礼儀を大切にする。（感謝の気持ちを持って活動する）

### 本校の運営方針

＜運営の基本方針＞ 全校生徒すべての生徒の加入が望ましいが、強制的に加入させる方向は考えない。配慮すべき点は、1. 2年生の加入段階で自己の能力・適性などを考え、適切な選択ができるよう係・学級担任を中心に、助言する。

＜具体的な運営＞ 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に沿って次のように活動する。

- ・令和2年度より朝の部活動は年間を通して行わない。また、水曜日の放課後は活動を行わない。休日の部活動は土日どちらかの半日のみとする。ただし、必要と認めたときは校長に許可をとり可否を判断する。
- ・平日の活動時間は1日2時間程度とする。延長部活については学校長の許可をとり、保護者の迎えを徹底する。
- ・長期休業中は休日日数の3分の1以下の活動で実施する。
- ・週末に大会参加等で両日にわたり活動した場合は、原則として月曜日（無理な場合は、その週のうち）に、休養日を設ける。
- ・定期テスト3日前から活動は行わない。
- ・学校規模により専門外の顧問が多いことを踏まえ、地域の方の協力を仰ぎながら、目標達成のために効果的な指導体制をつくる。
- ・各部の大会参加については昨年度の実績をもとに参加する。新たな大会への参加は校長への許可を求める。
- ・部活動運営委員会（年2回）を行い、村教育委員会、学校、外部指導者、家庭との連絡調整を行うとともに、よりよい部活動運営のについての協議の場とする。

### 指導体制の工夫

- ・部活数に対し、職員数が足りないので、冬季スポーツの引率については複数職員で輪番で引率にあたる。
- ・地域スポーツクラブや今後の入学予定生徒の希望等を考慮しながら、部活数や内容について検討する。
- ・運動系の部活動、7部活のうち6部活が外部指導者による指導を受けている。令和5年度からの「休日の部活動の段階的な地域移行」を見据え、徐々に外部指導者による休日指導を増やしていくとともに、外部指導者のいない部活については早急に見つけておきたい。

### その他

- ・郷育運営委員会（川上中コミュニティースクール）と連携し、外部指導者の方にも学校運営に関わっていただく。（外部指導者の代表を郷育運営委員として委嘱）
- ・部活動運営方針については、ホームページで公表する。また、部活動の活動時間、大会日程、結果等についても、学校だより、学年・学級通信、ホームページ等で公表していく。